

経営比較分析表（平成28年度決算）

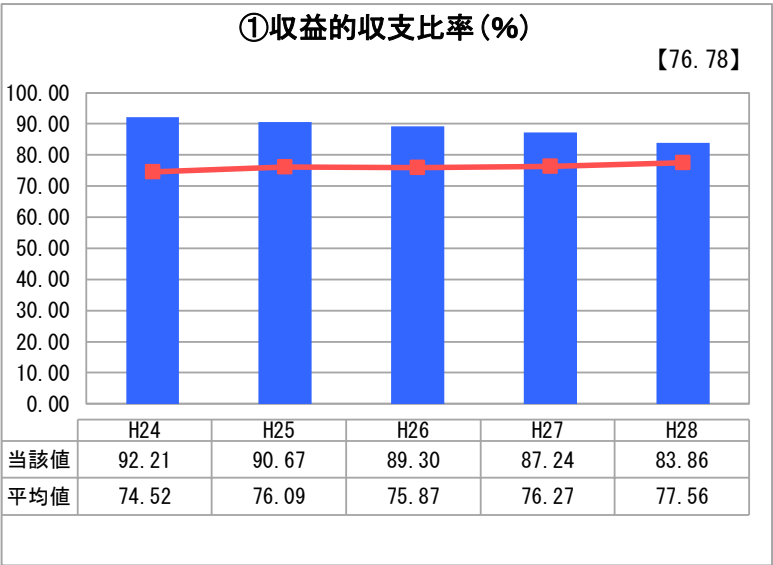
鳥取県 三朝町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	該当数値なし	30.06	1,944	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
6,720	233.52	28.78
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
2,007	191.00	10.51

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



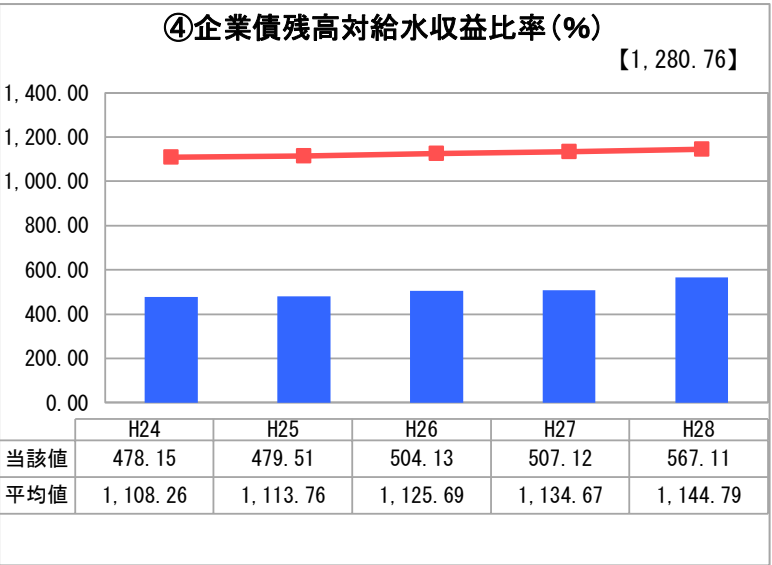
「単年度の収支」



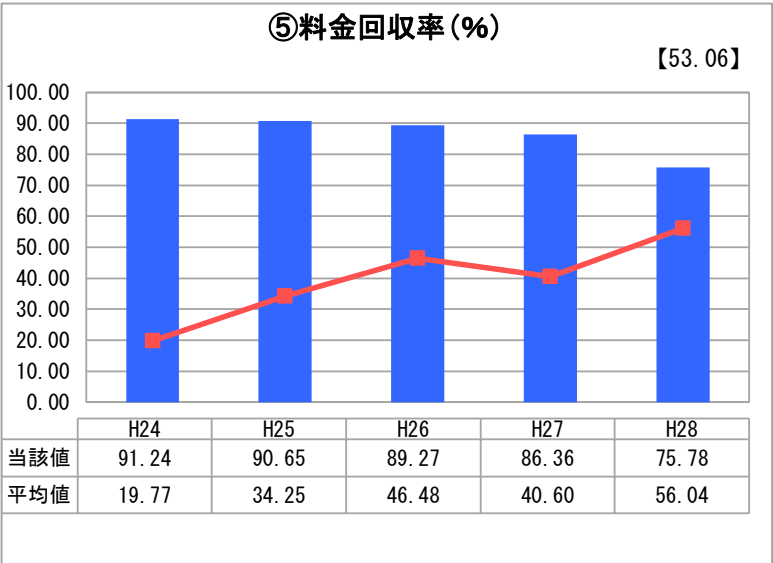
「累積欠損」



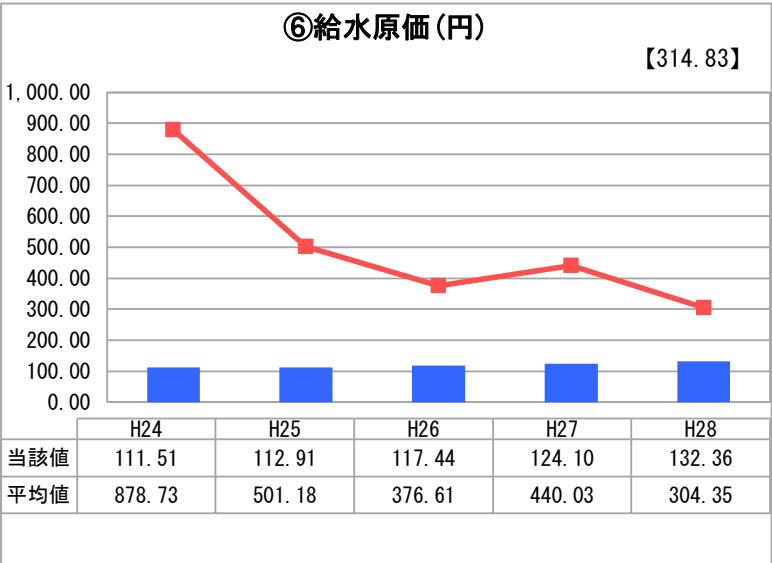
「支払能力」



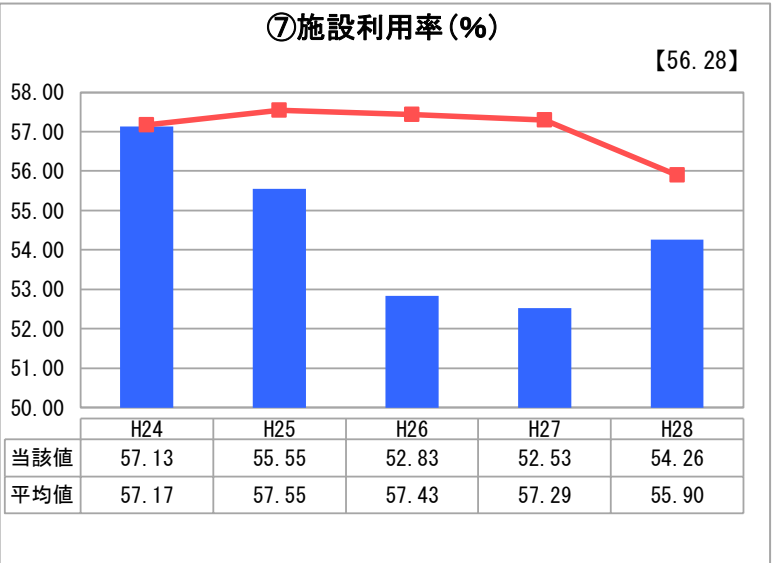
「債務残高」



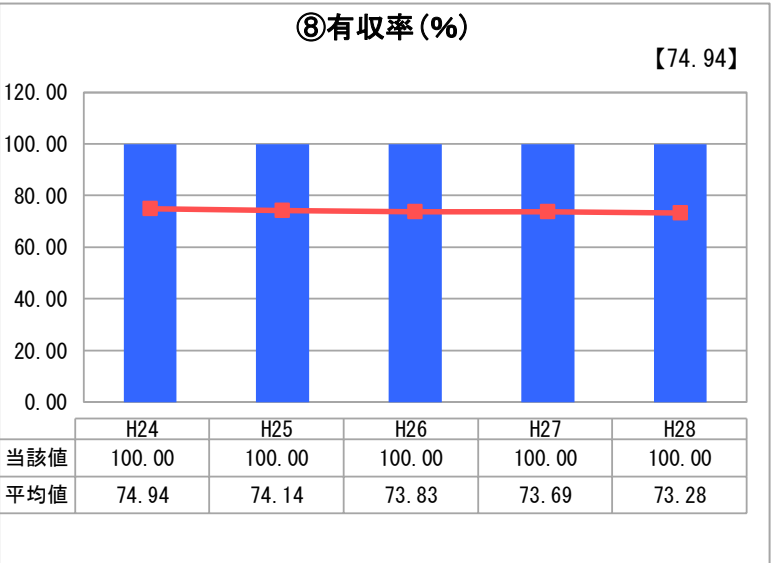
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

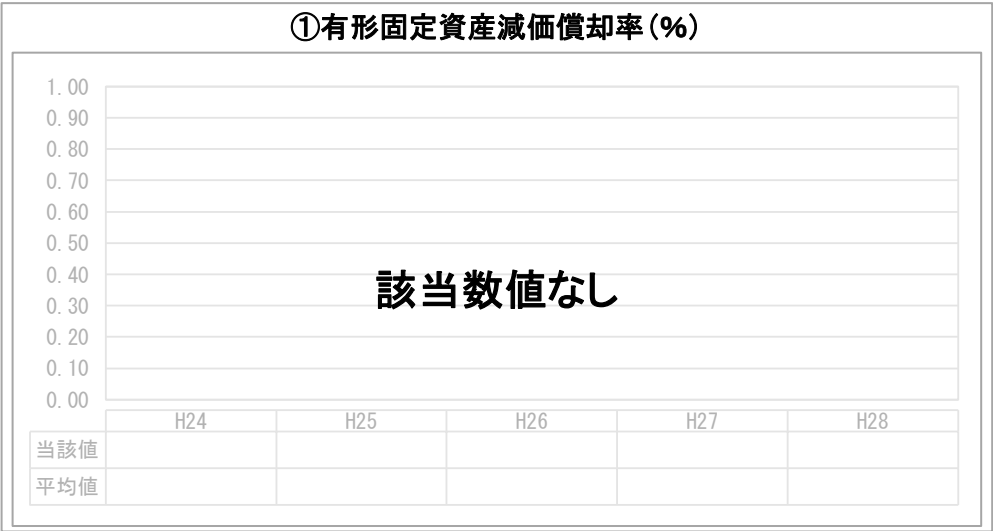


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

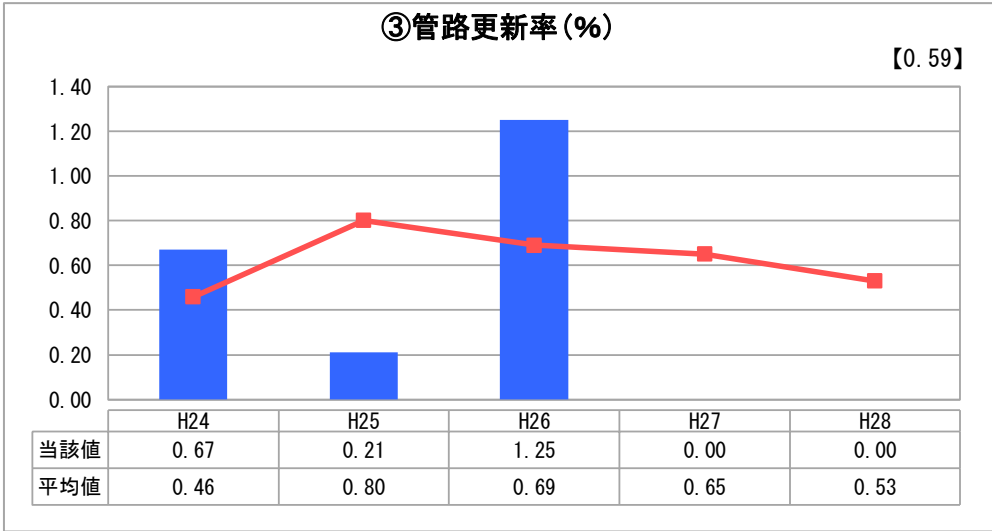
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

1. 経営の健全性・効率性について

収入：人口（給水人口）の減少と節水から、料金収入は年々減少している。このため、徴収率を高めるとともに、人口推移を考慮した料金体系の見直しを図る必要がある。

支出：施設の修繕は出来る限り職員が直営で対応し、維持管理経費の節減に努めている。また、老朽管を計画的に更新するとともに、断水を未然に防ぐため全ての配水池に水位通報装置の設置を4年計画で行っている。

2. 老朽化の状況について

各集落が施工及び管理していた簡易水道施設（18施設）及び飲料水供給施設（18施設）を、平成19年4月に町が一括して管理することになった。現在、施設管理記録（過去の破損状況）等に基づき、老朽管を計画的に更新している。

全体総括

経営環境が厳しさを増す中で、長期的かつ安定した経営基盤の強化を図ることが必要である。
1 人口が減少する中で料金収入を確保するため、徴収率を高めるとともに、料金体系の見直しを図る。
2 維持管理経費を抑制するなど、経費の削減を図る。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。